自分らしい生き方を想像し、秋田という風土のなかでの働き方を創造する

ソウゾウの森大会議 2024

テーマ
「混ざりあう森」

ソウゾウの森会議で生まれた新しいアイデアを、
私たちはどんなふうに混ぜあわせられるだろう。
そこからどんな秋田の未来をソウゾウできるだろう。

ソウゾウの森会議は、「自分らしい生き方を想像し、秋田という風土のなかでの働き方を創造する人々が集う場」です。2024 年は、大館市・鹿角市・秋田市にて、合計５回のソウゾウの森会議を開催。各地域の歴史や文化を学びながら、「湧き出る多様性」、「失敗から学ぶ」、「私の暮らしをつくる」「だれしもが活躍できるように」といったテーマについて、県内外からの参加者とゲストが活発に意見を交わし、この土地で豊かに暮らしていくための企てをたくさんソウゾウしてきました。

今年度の各地でのソウゾウの森会議で芽生えたアイデアや想いが出会い、混ざりあって新しいソウゾウにつなげていく場として、11月 30 日に「ソウゾウの森〈大〉会議 2024」を開催します。会場は、秋田市のにぎわい交流館AUです。
ソウゾウの森大会議は、これまでソウゾウの森会議にご参加いただいたすべての方々にとっての、ちょっと早目の「忘年会」のようなイベントです。ぜひ、秋田の未来をソウゾウする者たちの大会議にお集まりください！

プログラム

詳細・登壇者情報については見開きをご覧ください

13:00 - 13:10	**オープニング**	今回の大会議のプログラムも大充実。ろう者と聴者をつなぐ「ミニ異言語脱出ゲーム」のアイスブレイクにはじまり、今年度のソウゾウの森会議の主催者たちによる振り返りセッション、森の活用、アイデアの持ち寄り、地域の学びなどの分野から、各地の盛り上げに携わるゲストたちによるパネルディスカッションと続きます。
13:10 - 13:40	**アイスブレイク「ミニ異言語脱出ゲーム」**	
13:40 - 14:30	パネルディスカッション1「それぞれのソウゾウの森会議」	
14:30 - 15:30	パネルディスカッション2「各地のプレイヤーと、秋田の未来をソウゾウする」	
	休憩	
15:45 - 17:00	**ワークショップ「ソウゾウの森になる」**	後半には、株式会社Q0が手掛ける「秋田のデザインリサーチ」と連携し、「ソウゾウの森になる」と題したワークショップを行います。デザインリサーチから、秋田のどんな未来が見えてきて、そこに「私」はどう関わることができるでしょうか。みんなで意見を出し合いながら考えていく時間です。
	休憩	
17:15 - 17:55	パネルディスカッション3「混ざりあうソウゾウ」	終盤のパネルディスカッションは、「混ざりあうソウゾウ」をテーマに、ソウゾウの森会議の母体となっている COI-NEXT『森の価値変換を通じた、自律した豊かさの実現拠点』事業において、秋田のこれからに思いを馳せるすべての人々が持っている経験、知識、技術などをどのように混ぜあわせていけるのかを話し合います。出てきたアイデアを、私たちは、どんな具体的な行動に落とし込んでいけるでしょうか。
17:55 - 18:00	**クロージング**	

開催概要
日時：2024年11月30日（土）13:00-18:00
会場：にぎわい交流館 AU（秋田県秋田市中通1丁目4-1）
定員：100名（参加無料）

お問い合わせ先
秋田COI-NEXT拠点 ソウゾウの森会議
国際教養大学 応用国際教養教育推進課
018-886-9021／research@aiu.ac.jp

詳細・参加申込

自分らしい生き方を想像し、秋田という風土のなかでの働き方を創造する。

11/30 2024［土］「混ざりあう森」

国際教養大学／株式会社Q0
13:00-18:00＠にぎわい交流館AU

定員100名
参加無料

アイスブレイク　ミニ異言語脱出ゲーム

ファシリテーター
菊永 ふみ
一般社団法人異言語 Lab. 代表理事／
株式会社ヘラルボニー
ウェルフェア事業部
コンテンツクリエイター

ろう者と聴者をつなぐコンテンツづくりを手がけている菊永ふみさんのファシリテートのもと、手話や身振りで情報交換をしたり、動画の手話表現をもとにパーツを選んで組み立てたりと、チームで協力して謎を解き、ミッションをクリアする内容です。それぞれの違いを尊重しながら、みんなでつながる感覚を体感します。

パネルディスカッション1　それぞれのソウゾウの森会議

ファシリテーター
花岡 竜樹
株式会社 Q0 アーキテクト

2024年度、それぞれの地域やテーマをもとに、個性豊かな会議をデザインした５名の地域主催者に一同に会してもらい、各回を振り返るとともに、ソウゾウの森会議が共通して生み出してきた体験や場に集う参加者間の交流、今後を見据えアップデートしていくためのポイントについて議論します。

地域起業家

栗原 エミル
株式会社アウトクロップ
代表取締役/プロデューサー

木村 芳兼
株式会社ヘラルボニー
岩手事業部
シニアマネージャー

芦立 さやか
秋田市文化創造館
ディレクター

三澤 雄太
NPO 法人あき活 Lab
理事長

山本 美雪子
株式会社 See Visions
プランナー／宅地建物取引士

パネルディスカッション2　各地のプレイヤーと、秋田の未来をソウゾウする

ファシリテーター
林 千晶
株式会社 Q0 代表取締役

日本各地で活動する登壇者の取り組みを紹介してもらい、自然環境や文化面など多角的な視点から、全国における秋田の立ち位置を考察します。「森林」「都市と地方の循環」「ヨソモノ」といった、各登壇者の取り組みを表すキーワードの意味を探りつつ、地域の共通性や地域間連携の可能性などもふまえ、地域を支えるために不可欠な活動は何なのか、議論を深めます。

登壇者

上神田 健太
株式会社家守舎桃ノ音 代表取締役
岩手県生まれ。大学では都市計画を専攻。東京都庁で約７年勤務した後、2016年にパートナーの出身地、福島県国見町へ移住。2018年に「株式会社家守舎桃ノ音（やもりしゃももの ね）」を設立。2019年10月にオープンした「Co-Learning Space アカリ」を拠点に、国見町の活性化に取り組む。

山本 雄生
NewsPicks ビジネスプロデューサー／
POTLUCK YAESU プロデューサー
広告代理店を経て2016年にニューズピックスに参画し、広告事業の立ち上げを担当。ビジネス開発部門やNextCulture Studioの設立を経て、現在は三井不動産との地域経済創発プロジェクト「POTLUCK YAESU」など、企業と協働でプロジェクトプロデュースを行う。

長野 麻子
株式会社モリアゲ 代表取締役
愛知県安城市生まれ。東京大学文学部フランス文学科卒業後、1994年に農林水産省に入省。2018年から３年間林野庁木材利用課長として「ウッド・チェンジ」を推進。豊かな森を次代につなぐことを天命と感じ、2022年６月に早期退職。同年８月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲを設立。

ワークショップ　ソウゾウの森になる

秋田の地域起業家やユニークな活動を見える化した「ディスカバーマップ※」をもとに、グループに分かれてディスカッションを行います。もっと深く知りたいと思った発見や、明日から起きる新たな行動の一歩が見つかることを目指し、マップを眺めながら、これから広がる秋田の可能性をみんなでソウゾウしてシェアしましょう。

※ 発見した様々な内容・情報を一枚絵としてまとめたもの

広がる秋田の可能性、「私」はどう関わる?

ディスカバーマップ（以下マップ）は、秋田県内の産業特性やクリエイティブ活動、地域起業家などに関する情報収集を通じて作成されたもので、どういった営みが主体性を持って多様に存在しているのか、どんな人たちが未来に向けて活動しているのかが見える化されています。
ワークショップを通じて、すでに秋田で活動している方、これから新たな活動を始める方、ワクワクする未来を模索している方、参加者それぞれが自身のこれからのアクションにつながる発見やヒントを得ることができるでしょう。ワークショップの最後には、グループ内でのディスカッションを通じて見出された、これからの秋田のソウゾウにつながりそうなアイデアを全体でシェアしていただきます。
各グループ、どんな視点でマップのどんなところに注目したのか。そして、これからの秋田をどうソウゾウするのか。参加者一人一人が自分なりの視点や考え方を持ち、多様なアイデアが飛び交い合う。そんな時間をワークショップを通じて創造します。

パネルディスカッション3　混ざりあうソウゾウ

ファシリテーター
工藤 尚悟
国際教養大学 准教授

ソウゾウの森会議は、秋田での心地よい暮らし方を想像し、自分らしい働き方を創造する場として開催してきました。私たち一人ひとりのソウゾウが出会い、混ざりあうことで、どんな新しい発想が生まれてくるでしょうか。どんな創造的な企てを考えられるでしょうか。沖縄科学技術大学院（OIST）にてCOI-NEXTに取り組むゲストと一緒に、地域が変容していくために必要な、アイデアや視点の有機的な混ざりあい方を探ります。

登壇者

足立 幸司
秋田県立大学／
木材高度加工研究所 教授

小杉 栄次郎
秋田公立美術大学
教授

田中 康進
沖縄科学技術大学院大学
コランダム・システム・バイオロジー